学校番号	3005

令和２年度　工業科（建築系）

教科	工業	科目	建築施工	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	建築施工（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築施工は、設計図に描かれた建築物を具体化させるために、多種多様な技術者・技能者の技量を総合的に集積させて行う生産活動です。そのため、各種建築工事について、工程・品質・安全面について詳しく考え、事件・事故のない現場管理ができるように、様々な知識を身につけましょう。

2　学習の到達目標

建築工事に関する各種の工法、工事監理、積算など建築施工に関する知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	建築施工に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけようとしている。	建築施工に関する基礎的な知識と技術をもとに実際の建築生産技術について考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけようとしている。	建築施工に関する基礎的な知識や技術を習得するとともに、実際の建築工事の現場を観察し、実習において実務的な技能を活用し、表現することができる。	建築施工に関する各種の工法、工事管理、積算など建築施工に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築生産技術の意義や役割を理解しようとしている。
評価方法	・授業準備状況 ・授業への参加状況 ・学習状況の観察 ・ノート、プリント、課題レポートの内容と提出状況 ・自己評価及び相互評価等	・定期考査 ・小テスト ・学習状況の観察 ・ノート、プリント、課題レポートの内容と提出状況 ・自己評価及び相互評価等	・授業への参加状況 ・ノート、プリント、課題レポートの内容と提出状況 ・自己評価及び相互評価等	・定期考査 ・小テスト ・学習状況の観察 ・ノート、プリント、課題レポートの内容と提出状況 ・自己評価及び相互評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	建築施工のあらまし・建築の業務・工事準備・地面から下の工事	１．建築施工にたずさわる人々 ２．建築工事の流れ ３．工事契約 ４．現場組織の編成 ５．施工計画と施工管理 ６．地盤と敷地の調査・確認 ７．仮設工事 ８．土工事及び杭・地業工事の種類と流れ ９．土工事・山留め １０．杭工事 １１．地業工事	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:建築施工に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけようとしている。 b:建築施工に関する基礎的な知識と技術をもとに実際の建築生産技術について考え、また諸問題を発見し、その解決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけようとしている。 c:建築施工に関する基礎的な知識や技術を習得するとともに、実際の建築工事の現場を観察し、実習において実務的な技能を活用し、表現することができる。 d:建築施工に関する各種の工法、工事管理、積算など建築施工に関する基礎的な知識と技術を身に付け、建築生産技術の意義や役割を理解しようとしている。	授業準備状況 授業への参加状況 学習状況の観察 ノート、プリント、課題レポートの内容と提出状況 定期考査 小テスト 自己評価及び相互評価等
後期	躯体工事・建築物の保全・解体工事と環境保全・建築積算	１．木構造の工事 ２．鉄筋コンクリート構造の工事 ３．鋼構造の工事 ４．保全の分類と考え方 ５．保全の方法 ６．解体工事 ７．環境保全 ８．積算の基本事項 ９．工事費の構成 １０．積算の方法	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:建築施工に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的、実践的な態度を身につけようとしている。 b:建築施工に関する基礎的な知識と技術をもとに実際の建築生産技術について考え、また諸問題を発見し、その解	授業準備状況 授業への参加状況 学習状況の観察 ノート、プリント、課題レポートの内容と提出状況

							決を目指して自ら思考を深め、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけようとしている。 c:建築施工に関する基礎的な知識や技術を習得するとともに、実際の建築工事の現場を観察し、実習において実務的な技能を活用し、表現することができる。 d:建築施工に関する各種の工法、工事管理、積算など建築施工に関する基礎的な知識と技術を身につけ、建築生産技術の意義や役割を理解しようとしている。	定期考査 小テスト 自己評価及び相互評価等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。